

## 三沢市立三沢病院での実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5年 松井英

私は7月の1ヶ月間、三沢病院の外科にて臨床実習をさせていただきました。COVID19の影響により予定されていた病院実習は長らく中止になっていましたが、7月から部分的に再開されました。実習中止による焦りやもどかしさ、一方では「やっと実習することができる」というワクワクする気持ちを持ちながら実習再開を迎えました。

実習では毎日手術の見学をさせていただきました。手洗い、ガウンテクニック、清潔操作といった基本的なことはもちろん、解剖、疾患などについても先生方にご指導頂きました。この構造物は何なのか、今行われた手技にはどういった意味あるのかなどを考えながら手術を見学させていただくことで、座学では得ることができなかった経験をすることができたと思います。実際に手を動かして手技を行う機会も与えていただきありがとうございました。また病棟での実習ではガーゼ交換や抜鉤といった基本的な処置、術後の管理を勉強しました。病棟にはすぐに退院できるような患者さんだけではなく、長期的な入院が必要な患者さんも入院されていて、そういった方々が病気と向き合っている姿を毎日見させていただきました。先生方は検査データからだけではなく、患者さんの顔色・口調などからも患者さんの変化を予想し、患者さんの訴えに適切に対応していらっしゃいました。私もこの観察力を身につけたいと強く思いました。

私が三沢病院での実習を希望したのは「三沢基地が近いから外国の方と英語で話せる機会があるのではないか！」という理由からでした。以前三沢病院で実習した学生は休日に外国の方と交流したり、英会話の機会があったりなど英語に触れる機会があったようですが、今回はCOVID19の流行もあり、外国の方と交流する機会がなかったことは少し残念に感じました。

最後になりますが1ヶ月という短い間三沢病院で学ばせていただき本当にありがとうございました。外科の松本先生、池永先生、久保先生、医局の先生方、病棟の看護師の皆様、手術室のスタッフの皆様、事務・警備員の皆様、そして毎日優しく接して下さった研修医の先生方、大変お世話になりました。これからも日々勉学に励みたいと思います。



研修期間:2020年7月6日~2020年7月31日